



本市のために働きませんか
職員採用試験を
実施します

採用試験の概要は下表のとおり。
試験案内と申込書は、市役所職員課や各支所・市民サービスセンターにあるほか、本市ホームページからダウンロードもできます。申込書の郵送請求方法や受験資格など、詳しくは本市ホームページをご覧ください。



☎027・898・6503

申込書配布期間	申込期間	一次試験日	試験区分	採用予定数	受験資格
5月19日(木)まで	5月10日(火)~19日(木)	6月12日(日)	事務Ⅰ	15人	次のいずれかに該当する人。 A 平成5年4月2日~平成13年4月1日生まれ B 平成13年4月2日以降生まれで、学校教育法による大学を卒業したか来年3月31日までに卒業見込み(試験は大卒程度) ※1 A・Bの他に、大学などで考古学か歴史学を専攻して卒業したか卒業見込み
			事務Ⅰ(歴史学・考古学)※1	1人	
			土木Ⅰ	3人	
			建築Ⅰ	2人	
			電気Ⅰ	1人	
			社会福祉士	1人	平成5年4月2日以降生まれで、社会福祉士資格のある人(本年度の国家試験で取得見込みを含む。試験は大卒程度)
			保健師	2人	平成5年4月2日以降生まれで、保健師資格のある人(本年度の国家試験で取得見込みを含む。試験は大卒程度)
障害者対象	事務Ⅰ	1人	障害者手帳の交付を受けている人で、次のいずれかに該当する人。 A 昭和38年4月2日~平成13年4月1日生まれ B 平成13年4月2日以降生まれで、学校教育法による大学を卒業したかこれらと同等と認める学校などを卒業した(来年3月31日までに卒業見込みを含む。試験は大卒程度)		
			消防職Ⅰ	5人	次のいずれかに該当する人。 A 平成8年4月2日~平成13年4月1日生まれ B 平成13年4月2日以降生まれで、学校教育法による大学を卒業したか来年3月31日までに卒業見込み(試験は短卒程度)
①5月19日(木)まで ②7月1日(金)~8月15日(月)	①5月10日(火)~19日(木) ②8月3日(水)~15日(月)	①6月12日(日) ②9月18日(日)	事務Ⅰ	10人	次の全てに該当する人。 ① 昭和38年4月2日~平成9年4月1日生まれ ② 民間企業などでの職務経験が平成27年4月1日~令和4年7月31日の間に通算5年以上ある(ただし、昭和56年4月1日以前生まれの場合は、平成23年4月1日~令和4年7月31日の間に通算7年以上の職務経験がある。試験はSPI3試験)
			社会人経験者対象	事務Ⅰ(歴史学・考古学)※2	1人
7月1日(金)~8月15日(月)	8月3日(水)~15日(月)	9月18日(日)	土木Ⅰ	2人	
			建築Ⅰ	2人	
			電気Ⅰ	2人	
			機械Ⅰ	1人	
			保健師※3	1人	
			社会福祉士(主任ケアマネ)※4	1人	
			事務Ⅱ	3人	平成11年4月2日~平成17年4月1日生まれの人。ただし、大卒者・大卒見込み者は受験不可(試験は高卒程度)
			土木Ⅱ	1人	
			電気Ⅱ	1人	
			保育士	3人	平成5年4月2日以降生まれで、保育士登録を受けている人(来々年3月31日までに登録見込みを含む。試験は短卒程度)
消防職Ⅱ	2人	平成11年4月2日~平成17年4月1日生まれの人。ただし、大卒者・大卒見込み者は受験不可(試験は高卒程度)			
障害者対象	事務Ⅱ	1人	障害者手帳の交付を受けている人で、昭和38年4月2日以降生まれの人。ただし、大卒者・大卒見込み者は受験不可(試験は高卒程度)		
就職氷河期対象	事務Ⅰ・Ⅱ	1人	次の全てに該当する人。 A 昭和45年4月2日~昭和61年4月1日生まれ B 令和3年4月1日~令和4年7月31日の間に正規雇用労働者として雇用されていない(試験はⅠが大卒程度、Ⅱが高卒程度)		
技能労務職	9人	昭和57年4月2日~平成17年4月1日生まれで、現場作業に従事可能な人			

一部自己負担・一部隔年になります 受診シールを使って病気を早期発見

☎027-220-5784
☎027-220-5715

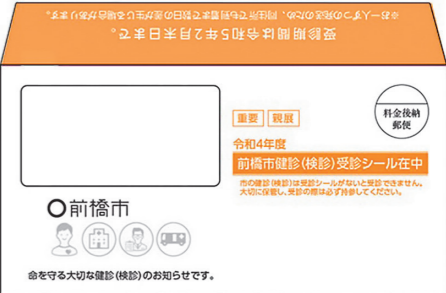
本市が送付する受診シールを使用すると、各種健診(検診)が1健診(検診)ごとに500円で受診できます。なお、国保特定健診・後期高齢者健診・肝炎ウイルス検診は無料。受診シールに印字されている費用を確認してください。また、胃がん・子宮頸がん・乳がん検診は、国の指針に基づき受診間隔が2年に一度に。市の受診シールで受診した翌年度は、該当の受診シールは発行されません。その次の年度に発行します。なお、来々年3月31日(金)時点で年齢が偶数となる人には、昨年度に該当のがん検診を受診していても、本年度は受診シールを発行します。

対象者には、受診シールを6月中旬に発送予定。自宅に封書が届くまでには2週間ほどかかる場合があります。



がん検診について詳しくはこちら

封筒は白地にオレンジ色



健診(検診)の種類	対象者	費用
健康診査	国保特定健康診査 後期高齢者健康診査 健康増進健康診査	-
がん検診	胸部(結核・肺がん)検診	40歳以上の人(喀痰細胞診は別途500円)
	大腸がん検診	40歳以上の人
	胃がん検診	40歳以上の人(2年に1回)
	乳がん(甲状腺)検診	40歳以上の女性(2年に1回)
	子宮頸がん検診	20歳以上の女性(2年に1回)
前立腺がん検診	50歳以上の男性	
その他	成人歯科健康診査	本年度中に20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる人
	骨粗鬆症検診	本年度中に40・45・50・55・60・65・70歳になる女性
	肝炎ウイルス検診	①40歳の人 ②41歳以上で過去に本市の肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

受診シールの枚数は1枚か2枚です。

●各種健診(検診)の対象者と費用
各種健診(検診)の対象者と費用は左表のとおり。健診(検診)は市内医療機関で受診する個別健診(検診)か集団健診(検診)が選べます。受診シールが届いたら内容を確認し、早めに受診してください。

●国保特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康増進健康診査
血液検査や尿検査、医師の診察、問診などで、生活習慣病などを早期に発見できます。毎年受診して自分の体の変化を知り、生活習慣を見直すきっかけにしてください。詳しくは加入している医療保険者に問い合わせてください。



国保特定健診についてはこちら

健診(検診)の種類	対象者	費用
健康診査	国保特定健康診査 後期高齢者健康診査 健康増進健康診査	-
がん検診	胸部(結核・肺がん)検診	40歳以上の人(喀痰細胞診は別途500円)
	大腸がん検診	40歳以上の人
	胃がん検診	40歳以上の人(2年に1回)
	乳がん(甲状腺)検診	40歳以上の女性(2年に1回)
	子宮頸がん検診	20歳以上の女性(2年に1回)
前立腺がん検診	50歳以上の男性	
その他	成人歯科健康診査	本年度中に20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる人
	骨粗鬆症検診	本年度中に40・45・50・55・60・65・70歳になる女性
	肝炎ウイルス検診	①40歳の人 ②41歳以上で過去に本市の肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

※生活保護受給者・中国残留邦人などは全て無料。

●健康診査の変更点
尿検査と血液検査の際、健康診査と同時に実施する市独自の検査項目を見直しました。また、被用者保険加入者は市独自検査項目の対象外になり、「確認用」の受診シールはなくなります。

●がん検診
がんは日本人の死亡原因の第1位。ただし、検診での早期発見、早期治療で治る確率が高くなります。すでに病状がある人や治療中・経過観察中の人は、検診ではなく、早めに医療機関で受診してください。

●その他の健診(検診)
肝炎ウイルスや骨粗鬆症、成人歯科の各健診(検診)の対象年齢の人は積極的に受診してください。